

御代田町の埋蔵文化財発掘調査報告書 第25集

町内遺跡'97

——長野県北佐久郡御代田町町内遺跡発掘調査報告書——

1998. 3

御代田町教育委員会

御代田町の埋蔵文化財発掘調査報告書 第25集

町内遺跡'97

——長野県北佐久郡御代田町町内遺跡発掘調査報告書——

1998. 3

御代田町教育委員会

例 言

- 1 本書は平成9年度国庫補助事業、町内遺跡発掘調査事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書である。
- 2 事務局と調査団
御代田町教育委員会
教 育 長 柳 沢 忠 良
教 育 次 長 土 屋 和 雄
社会同和教育係長 茂 木 康 生
社会同和教育係 荻 原 浩、堤 隆、小 山 岳 夫
調査団
団 長 柳 沢 忠 良
調査担当者 堤 隆、小 山 岳 夫
作 業 員 中 込 輝 子、砂 連 尾 恵 美 子、神 蔵 惇 子
- 3 本書の編集 小 山 岳 夫
- 4 執 筆 同 上
- 5 整 理 作 業 中 込 輝 子、砂 連 尾 恵 美 子、神 蔵 惇 子
- 6 本書にかかわる資料の保管場所 御代田町教育委員会文化財資料室

目 次

I 調査の概要	1
II 試掘調査の結果	4
1 中金井遺跡群	4
2 東二ツ石遺跡	7
3 追分道添遺跡	10
III 確認調査の結果	13
1 やまゆり工業団地建設予定地内	13
IV 整 理 作 業	16
報告書抄録	

I 調査の概要

御代田町では、本年度から町内遺跡での発掘調査に際し、国庫補助金の交付を受けることとした。

町内には77か所の遺跡が周知されているが、遺跡内において営利を目的とする開発にともなう発掘調査が発生した場合、今までその費用は100%、原因者の開発側が負っていた。しかし、国庫補助金を受けることにより、本年度からは試掘調査までの費用は、保護部局の教育委員会で負担することが可能になった。開発側の経費負担が一部軽減された結果、保護協議から埋蔵文化財発掘調査にいたるまで友好的に行われるようになり、開発・保護の両サイドからみても意義ある補助金交付となった。

本年度実施した試掘調査は下表の通り3件で、調査原因はすべて公共事業にかかわるものであった。当初は小田井ショッピングセンター建設などの民間開発を含め、6件の事業を予定していたが、年度をさかのぼって実施されたり、次年度送りとなったため、半減する結果となった。このため、それにかかわる補助事業経費も減額することになり、当初、申請した160万円を82万円に変更した。経費の国・県・町の負担割合は、国50%（41万円）、県15%（12万3千円）、町35%（28万7千円）である。

遺跡地内における開発事業は、県営事業については県教育委員会が、地方事務所・建設事務所に次年度の事業照会、町単独事業については、町教委が年度末に次年度の開発計画を関係事業課に照会することによって把握している。また、民間開発については、町環境保全条例に基づき、業者から提出された開発行為等の書類を、建設課と合議することによって、かなり細かな開発の把握もなされている。今後の課題としては個人住宅等1,000㎡以下の小規模開発についての事業把握である。そこで町教委では、町内における小規模開発のチェック機能の整備を検討している。

第1表 試掘実施遺跡一覧表

	遺 跡 名	住 所	原因者	調査原因
1	中金井遺跡群	大字御代田1772-1ほか	御代田町	御代田町地域福祉センター建設
2	東二ツ石遺跡	大字塩野547-1ほか	御代田町	貯水タンク建設
3	追分道添遺跡	大字草越858-3ほか	御代田町	農道舗装



第1図 町内遺跡分布図 (★印調査地点 1 : 50,000)

第2表 北佐久郡御代田町遺跡一覽表

番 号	種 別	時 代					遺 跡 名	所 在 地	発 掘 歴	消 滅	
		縄文	弥生	古墳	奈平	中世				一	全
1	集落	○			○		神代田	野	○	○	
2	集落	○			○		野	野	○	○	
3	集落	○					野	野	○	○	
4	集落	○					野	野	○	○	
5	集落	○					野	野	○	○	
6	集落	○					野	野	○	○	
7	集落	○					野	野	○	○	
8	集落	○					野	野	○	○	
9	集落	○					野	野	○	○	
10	集落	○					野	野	○	○	
11	集落	○					野	野	○	○	
12	集落	○					野	野	○	○	
13	集落	○					野	野	○	○	
14	集落	○					野	野	○	○	
15	集落	○					野	野	○	○	
16	集落	○					野	野	○	○	
17	集落	○					野	野	○	○	
18	集落	○					野	野	○	○	
19	集落	○					野	野	○	○	
20	集落	○					野	野	○	○	
21	集落	○					野	野	○	○	
22	集落	○					野	野	○	○	
23	集落	○					野	野	○	○	
24	集落	○					野	野	○	○	
25	集落	○					野	野	○	○	
26	集落	○					野	野	○	○	
27	集落	○					野	野	○	○	
28	集落	○					野	野	○	○	
29	集落	○					野	野	○	○	
30	集落	○					野	野	○	○	
31	集落	○					野	野	○	○	
32	集落	○					野	野	○	○	
33	集落	○					野	野	○	○	
34	集落	○					野	野	○	○	
35	集落	○					野	野	○	○	
36	集落	○					野	野	○	○	
37	集落	○					野	野	○	○	
38	集落	○					野	野	○	○	
39	集落	○					野	野	○	○	
40	集落	○					野	野	○	○	
41	集落	○					野	野	○	○	
42	集落	○					野	野	○	○	
43	集落	○					野	野	○	○	
44	集落	○					野	野	○	○	
45	集落	○					野	野	○	○	
46	集落	○					野	野	○	○	
47	集落	○					野	野	○	○	
48	集落	○					野	野	○	○	
49	集落	○					野	野	○	○	
50	集落	○					野	野	○	○	
51	集落	○					野	野	○	○	
52	集落	○					野	野	○	○	
53	集落	○					野	野	○	○	
54	集落	○					野	野	○	○	
55	集落	○					野	野	○	○	
56	集落	○					野	野	○	○	
57	集落	○					野	野	○	○	
58	集落	○					野	野	○	○	
59	集落	○					野	野	○	○	
60	集落	○					野	野	○	○	
61	集落	○					野	野	○	○	
62	集落	○					野	野	○	○	
63	集落	○					野	野	○	○	
64	集落	○					野	野	○	○	
65	集落	○					野	野	○	○	
66	集落	○					野	野	○	○	
67	集落	○					野	野	○	○	
68	集落	○					野	野	○	○	
69	集落	○					野	野	○	○	
70	集落	○					野	野	○	○	
71	集落	○					野	野	○	○	
72	集落	○					野	野	○	○	
73	集落	○					野	野	○	○	
74	集落	○					野	野	○	○	
75	集落	○					野	野	○	○	
76	集落	○					野	野	○	○	
77	集落	○					野	野	○	○	

II 試掘調査の結果

1 なかかない 中金井遺跡群

- (1) 調査場所 長野県北佐久郡御代田町大字御代田1772-1ほか
- (2) 調査時期 平成9年5月27・28日
- (3) 調査原因者 御代田町
- (4) 調査原因 御代田町地域福祉センター建設に伴う発掘調査
- (5) 調査担当 堤 隆（御代田町教育委員会）
- (6) 調査概要と結果

中金井遺跡群は、戦国時代武田氏の駐屯地と目される中世城跡・佐久市金井城跡の北側に位置するため、城郭との関連が予想される遺跡である。

今回の調査地は遺跡群の一端にあるものの、立地は低地部分に位置していることが、重機によって試掘坑1～3を掘削の結果判明した。その堆積状況は、基盤であるローム層の上に、泥炭層→砂層→シルト質層の順で厚さ約3.5mにもおよび、低地特有のものである。

また、本地点では遺構・遺物は検出されなかったため、調査終了後、御代田町地域福祉センター建設工事が実施された。

なお、今回は遺構・遺物が検出されなかったものの、遺跡群の実態はまだまだ不明点が多く、今後も引き続き、丹念な試掘調査を実施していく必要がある。

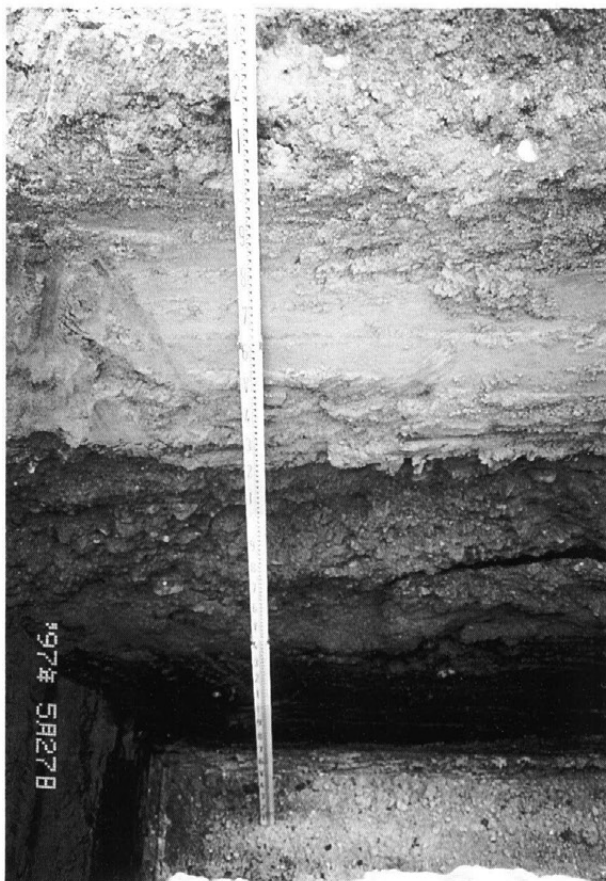
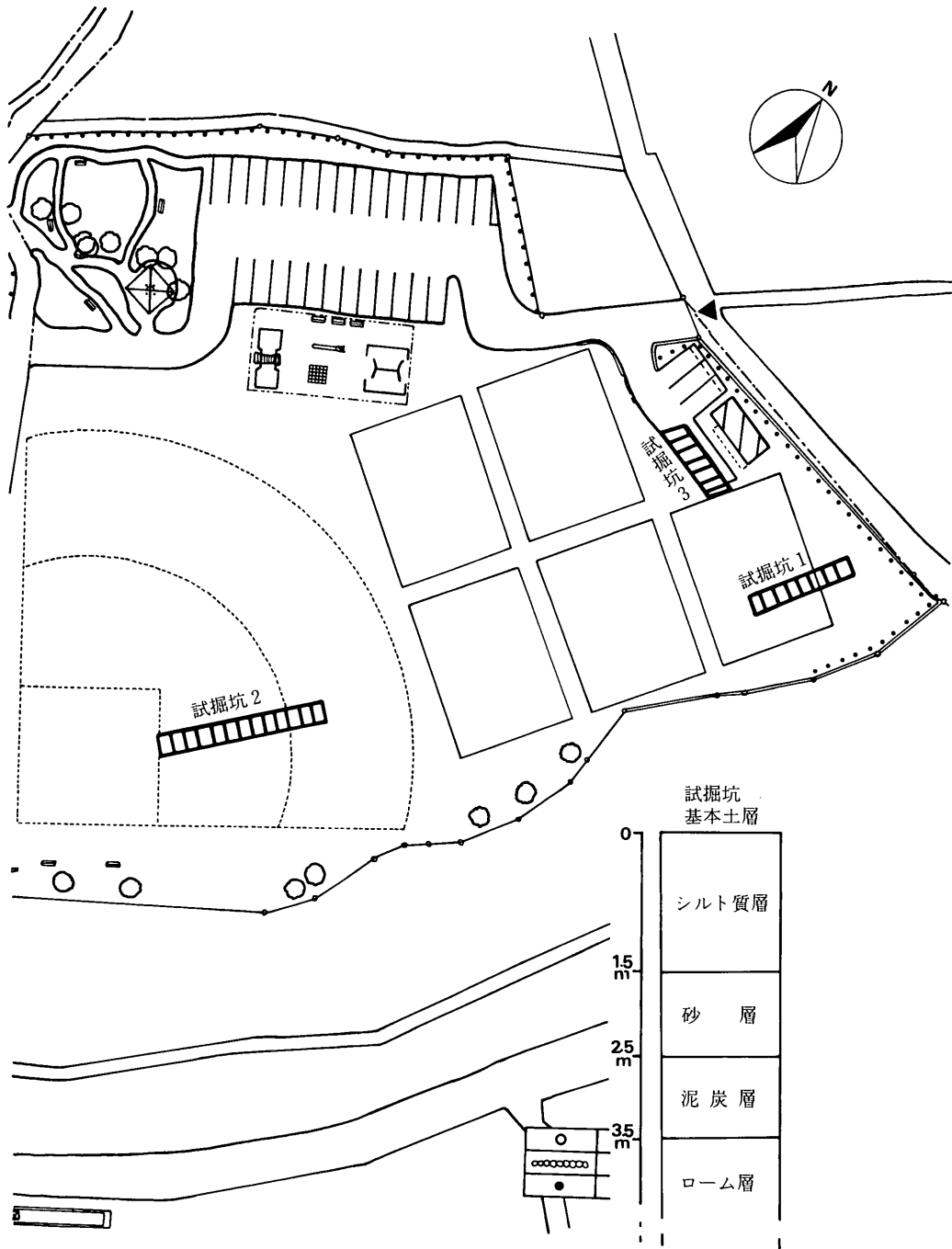


写真1 中金井遺跡群地層断面



第2図 中金井遺跡群試掘箇所 (1:900) と基本土層



写真2 試掘坑1 掘削風景



写真3 試掘坑2 掘削風景

2 ひがしふたつし 東二ツ石遺跡

- (1) 調査場所 長野県北佐久郡御代田町大字塩野547-1ほか
- (2) 調査時期 平成9年8月20日
- (3) 調査原因者 御代田町
- (4) 調査原因 貯水タンク建設に伴う発掘調査
- (5) 調査担当 小山岳夫（御代田町教育委員会）
- (6) 調査概要と結果

東二ツ石遺跡では、過去、平成3年度に広域農道（浅間サンライン）建設に伴う発掘調査が行われて、この際には遺構・遺物は検出されなかった。同時期に行われた西隣の西駒込遺跡の発掘調査では縄文時代中期後半の住居跡2軒が発見され、東隣の湧玉遺跡は、縄文土器が多量に採集できる場所として著名である。周囲のこのような状況から今回の調査地点でも、縄文遺構の検出が予想された。しかし、第3図のように丹念に試掘坑を掘削したが、遺構・遺物の存在は確認されなかった。

なお、本地点は表土下約30cm程度でローム層に達するが、西隣の西駒込遺跡では平安時代(1103年)の火砕流が被り、容易に掘削できない状況になる。



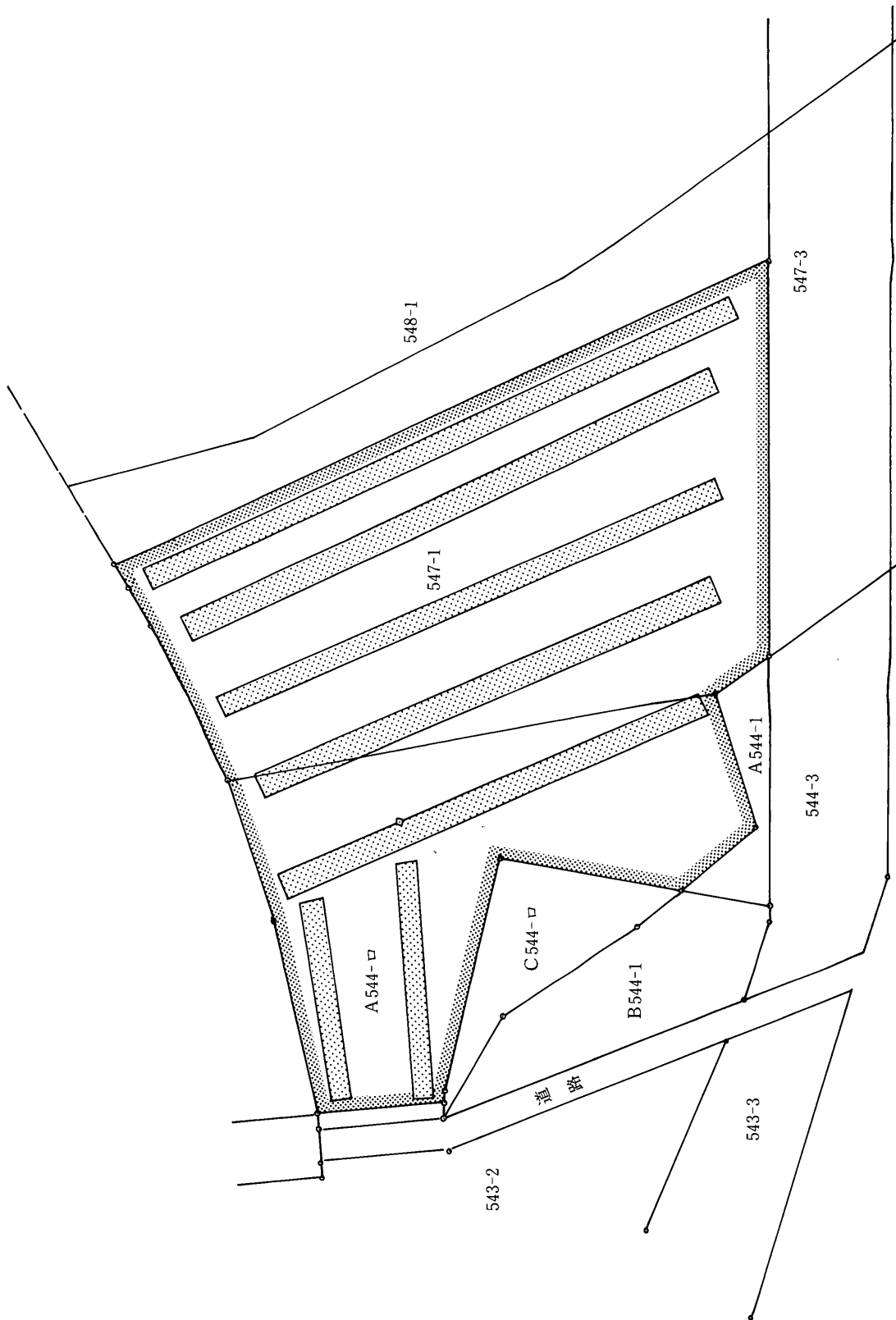
写真4 東二ツ石遺跡近景



写真5 試掘風景



写真6 東ニツ石遺跡トレンチ掘削状況



第3図 東ニツ石遺跡発掘区とトレンチ設定箇所 (アミ 1 : 400)

3 おいわけみちぞえ 追分道添遺跡

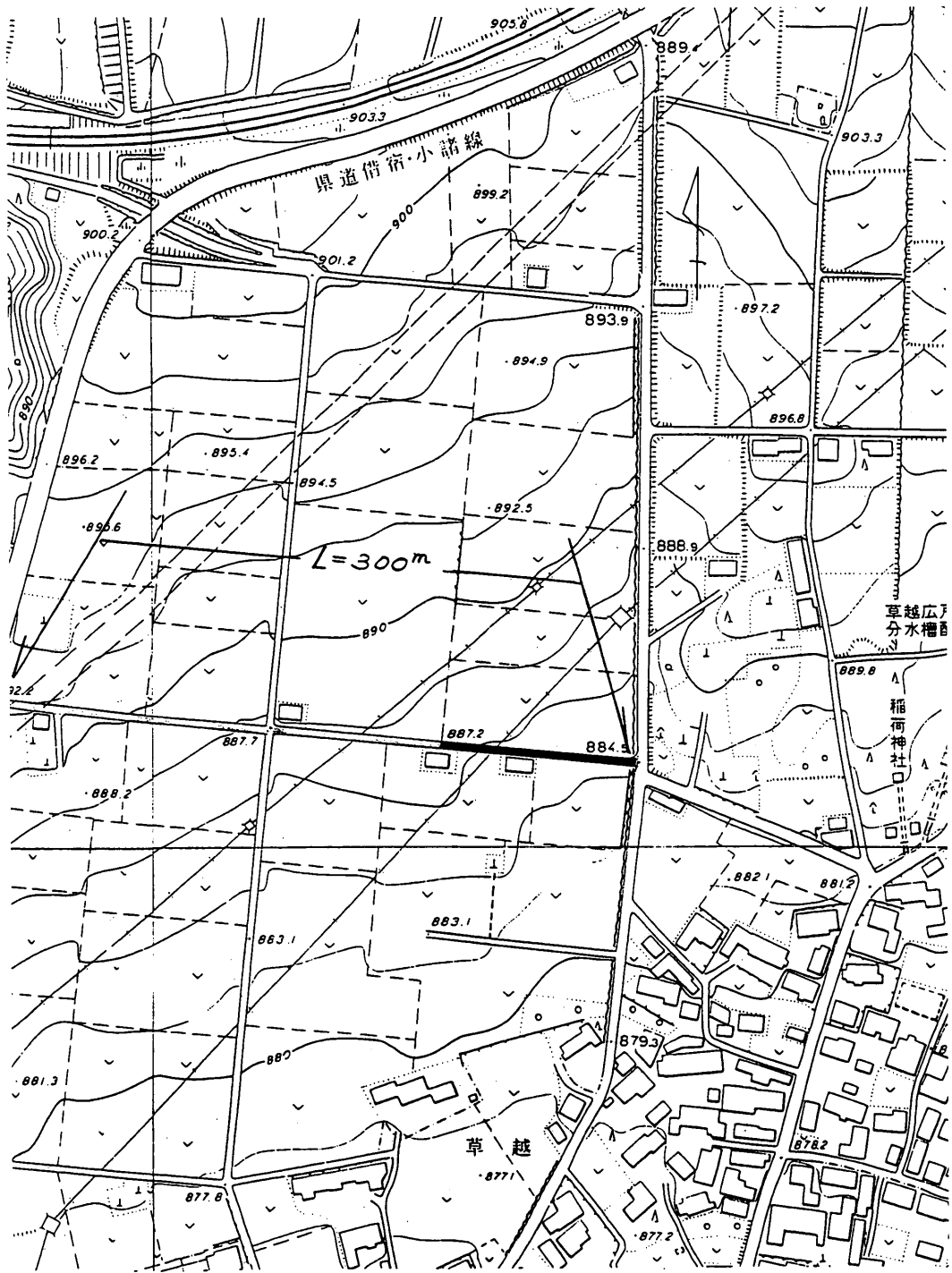
- (1) 調査場所 長野県北佐久郡御代田町大字草越858-3、900-5
- (2) 調査時期 平成10年2月17日～2月19日
- (3) 調査原因者 御代田町
- (4) 調査原因 農道舗装工事に伴う発掘調査
- (5) 調査担当 小山岳夫（御代田町教育委員会）
- (6) 調査概要と結果

追分道添遺跡は、過去に道路工事に伴う試掘調査が行われた程度で大規模発掘が行われたことはない。このため、遺跡の時代や性格を判断する材料に乏しく、試掘を丹念に行うことにより、遺跡の概要を把握しておく必要があった。

今回の調査は、幅3mの道路幅内をほぼそっくり掘削した。その結果、黒色土が厚く堆積しており、低地となっていた時代があったことが判明した。なお、周辺の現状地形は昭和40年代の圃場整備でほぼ平坦化している。遺構は検出されなかったが、遺物は、磨耗した縄文中期の土器が少量出土した。また、地元の人々の証言では、北側の微高地で土器が出土したとのことであり、近くに集落遺跡が眠っていることはまちがいない。



写真7 追分道添遺跡近景



第4図 追分道添遺跡試掘箇所（黒塗部分 1:3,000）



写真8 追分道添遺跡試掘開始 (98. 2. 17)

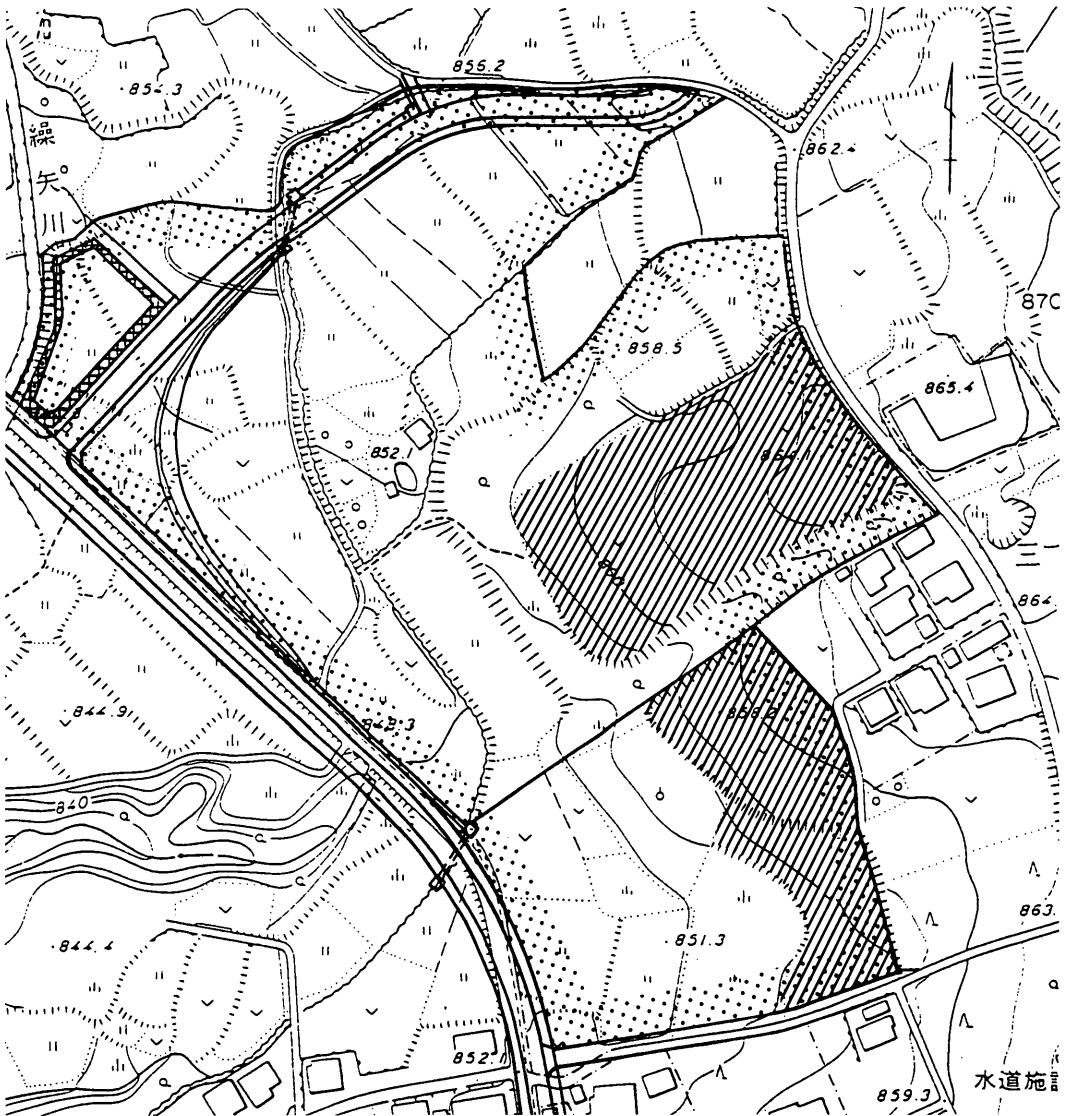


写真9 追分道添遺跡遺構確認 (98. 2. 19)

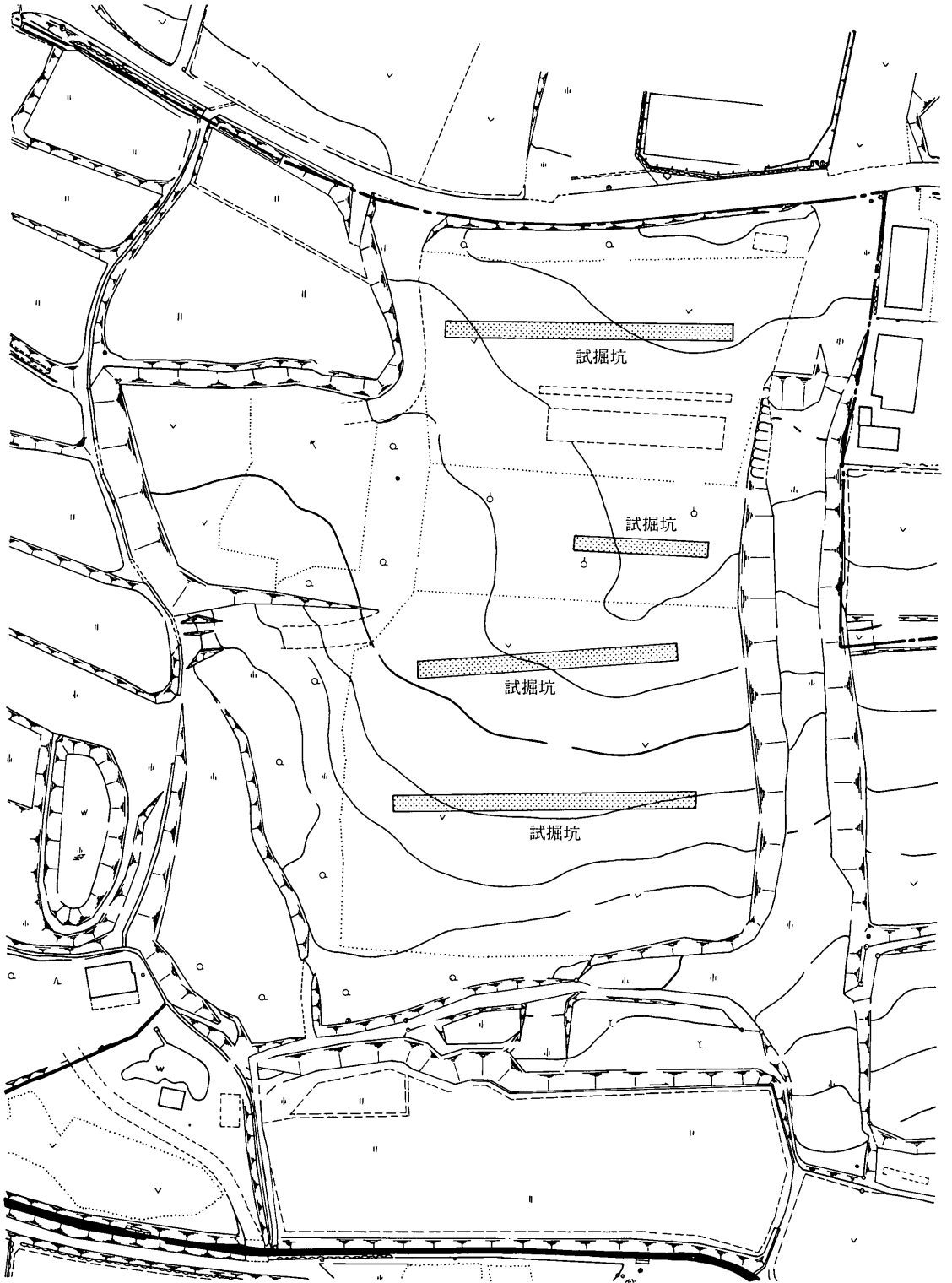
III 確認調査の結果

1 やまゆり工業団地建設予定地内

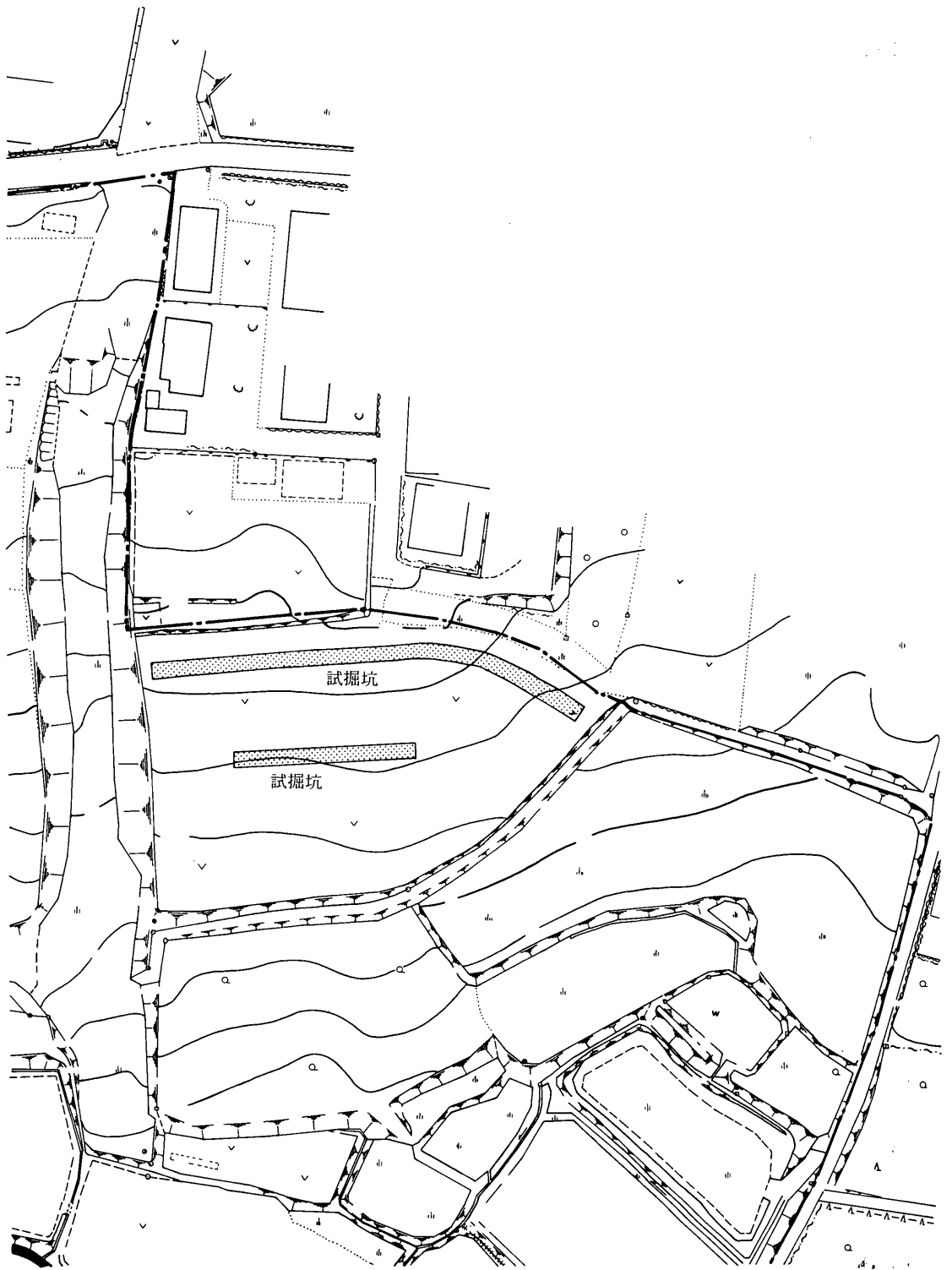
- (1) 調査場所 長野県北佐久郡御代田町大字馬瀬口字大谷地^{おおやち}
- (2) 調査時期 平成9年11月27日



第5図 やまゆり工業団地予定地 (1:2,500 アミ部分を試掘)



第6図 試掘坑設定図 (1 : 1,000)



- (3) 調査原因者 御代田町土地開発公社
- (4) 調査原因 工場団地に伴う遺跡確認調査
- (5) 調査担当 堤 隆（御代田町教育委員会）
- (6) 調査概要と結果

平成9年度、御代田町土地開発公社は御代田町馬瀬口字大谷地において、工業団地の建設を計画した。この地域は町の遺跡地図には遺跡として登録されていないが、当町では詳細分布調査を実施していないため、正確な遺跡分布が把握されていない。そこで大規模開発の際には、該当地内で分布調査・試掘確認調査を行っている。

試掘確認調査は、集落の存在が予想された台地部分に絞って行われた。台地を東西に横断するように試掘坑を5か所に設定し、掘削を行った。表土の堆積は薄く平均40cm程度で基盤のローム層に達したが、遺構・遺物は検出されなかった。また、この地域には平安時代の火砕流が覆っていないことが判明したのも成果のひとつである。

IV 整理作業



写真10 原稿の打ち込み (98. 2. 17)



写真11 原稿の打ち込み (98. 3. 2)



写真12 分布図の作成 (98. 2. 17)



写真13 図面整理 (98. 3. 10)

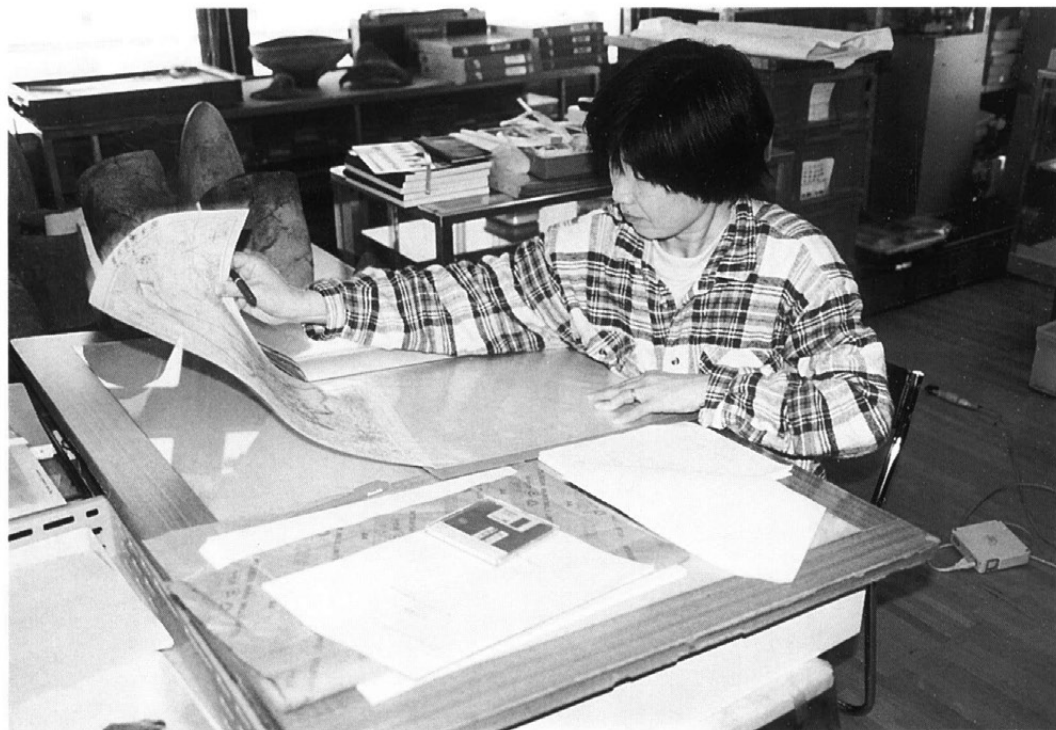


写真14 報告書編集作業

報告書抄録

ふりがな	ちょうないいせき							
書名	町内遺跡							
シリーズ名	御代田町埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第25集							
編著者名	小山 岳夫							
編集機関	御代田町教育委員会							
所在地	〒389-0206 長野県北佐久郡御代田町大字御代田2464-2 TEL 0267 (32) 3111							
発行年月日	1998年 3月25日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
なかかないいせきぐん 中金井遺跡群	みよたまち 御代田町 みよた 大字御代田					平成9年 5月28日		地域福祉センター建設、 貯水タンク建設、 農道整備
ひがしふたつしいせき 東二ツ石遺跡	しおの 大字塩野					平成9年 8月20日		
おいわけみちぞえいせき 追分道添遺跡 ほか	くまごえ 大字草越					平成10年 2月19日		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
中金井遺跡群 東二ツ石遺跡 追分道添遺跡	散布地 散布地 集落跡 散布地	中世 縄文 縄文平安	未検出 未検出 未検出	未検出 未検出 縄文中期の土器	中金井遺跡群は金井城との関連が目されたが、遺構遺物は未検出。東二ツ石遺跡は近隣が縄文遺跡の宝庫で、縄文遺構の検出が予想されたが遺構遺物は未検出であった。追分道添遺跡は磨耗した縄文土器が微量検出され、近隣に遺構の存在が予想された。			

御代田町の埋蔵文化財発掘調査報告書

- | | | | |
|------|-----------|------|----------------------------|
| 第1集 | 御代田町教育委員会 | 1975 | 『馬瀬口下原古墳群』 |
| 第2集 | 御代田町教育委員会 | 1985 | 『野火付遺跡』 |
| 第3集 | 御代田町教育委員会 | 1985 | 『宮平遺跡－遺構編－』 |
| 第4集 | 御代田町教育委員会 | 1986 | 『大沼遺跡』 |
| 第5集 | 御代田町教育委員会 | 1987 | 『前田遺跡』 |
| 第6集 | 御代田町教育委員会 | 1988 | 『十二遺跡』 |
| 第7集 | 御代田町教育委員会 | 1989 | 『根岸遺跡』 |
| 第8集 | 御代田町教育委員会 | 1989 | 『広畑遺跡』 |
| 第9集 | 御代田町教育委員会 | 1990 | 『聖原II遺跡』 |
| 第10集 | 御代田町教育委員会 | 1991 | 『川原田・城之腰遺跡発掘調査概要報告書』 |
| 第11集 | 御代田町教育委員会 | 1992 | 『城之腰遺跡』 |
| 第12集 | 御代田町教育委員会 | 1992 | 『細田・下弥堂・塚田・下荒田遺跡発掘調査概要報告書』 |
| 第13集 | 御代田町教育委員会 | 1993 | 『川原田遺跡－平安・中世編－』 |
| 第14集 | 御代田町教育委員会 | 1993 | 『細田遺跡』 |
| 第15集 | 御代田町教育委員会 | 1993 | 『滝沢遺跡発掘調査概要報告書』 |
| 第16集 | 御代田町教育委員会 | 1993 | 『西駒込・東二ッ石・湧玉遺跡』 |
| 第17集 | 御代田町教育委員会 | 1994 | 『下弥堂遺跡』 |
| 第18集 | 御代田町教育委員会 | 1994 | 『塚田遺跡』 |
| 第19集 | 御代田町教育委員会 | 1994 | 『滝沢・東荒神・西荒神遺跡発掘調査概要報告書』 |
| 第20集 | 御代田町教育委員会 | 1994 | 『下荒田遺跡』 |
| 第21集 | 御代田町教育委員会 | 1995 | 『聖原II遺跡（第3次）』 |
| 第22集 | 御代田町教育委員会 | 1997 | 『川原田遺跡』 |
| 第23集 | 御代田町教育委員会 | 1997 | 『滝沢遺跡』 |
| 第24集 | 御代田町教育委員会 | 1998 | 『めがね塚1号古墳』 |
| 第25集 | 御代田町教育委員会 | 1998 | 『町内遺跡'97』 |

町内遺跡'97

長野県北佐久郡御代田町町内遺跡発掘調査報告書

1998年3月25日 発行

編 集 御代田町教育委員会
発 行 御代田町教育委員会
印 刷 ほおずき書籍株式会社
